

1. 第3回_日野市いじめ防止対策推進条例策定委員会ご意見

《回答者数 4名》

設問1 第3回検討委員会 資料02～05 日野市いじめ防止対策推進条例（案）等について

※提示された案で良いという意見以外の主な意見の整理

ご意見等	事務局
日野市いじめ防止対策推進条例（案）	
<p>第1条 「…児童等に対するいじめの防止に係るための対策…」については、「…児童等に対するいじめの防止等のための対策…」がよいのではないかと。「防止に係るための」という意味が分かりにくいのと、他の文には「いじめ防止等のための」という文言が使われているため。</p>	<p>■いただいたご意見を反映し修文</p>
<p>第2条（1）～（5）がありますが、1～5でよいかと思えます。通常は1の下位に（1）となり、第3条はその形になっているので違和感を感じます。</p>	<p>■修文無し</p> <p>条例の構成として、一つの「条」の内容をさらに区分する必要がある場合に、「項」を使用します。</p> <p>本条例の「項」は数字だけで表しており、第3条は条の内容を1～5項に分けて説明をしています。</p> <p>第2条の場合は、条の内容はあくまでも一つであり、7種の用語の意義を解説しておりますので、「項」と区別するために（）を用いています。</p>
<p>第3条1～5項のそれぞれの文末が、「こと」になっているが、1・2項であれば「ようにする。」。3～5項であれば、「ならない。」とするとよいと思えます。</p> <p>理念はこのようなあるべきであるということを示すものなので「すること」というのは違和感を感じます。</p>	<p>■いただいたご意見を反映し修文</p>
<p>第7条 保護者等、地域住民等とありますが、保護者、地域住民とするとよいと思えます。</p> <p>第2条の（5）の保護者以外に等に当たるものはないかと思えます。また、地域住民の等についてはその他関係機関等に含まれるのではないかと思えます。</p> <p>第8条 保護者等は保護者でよいと思えます。</p>	<p>■いただいたご意見を反映し一部修文</p> <p>第2条の用語の意義と表現を合わせ修文いたしました。</p> <p>「保護者等」は「保護者」に、「地域住民等」はそのままとしております。</p>

<p>第１３条 「具体的な対策に関する基本方針」は、「対策に関する基本方針」にするとよいと思います。基本方針は具現化するものかと思いますので、「具体的な」が重複していると感じます。</p>	<p>■いただいたご意見を反映し修文</p>
<p>第１５条の３項 「または」は「又は」にそろえる とよいと思います。加えて、「同項に規定する組織として同項に規定する調査等」は、「同項に規定する重大事態に係る事実関係を明確にするための調査」とするとよいと思います。条文を読むのは大変であるので、どのような調査をするのかを明確に示しておく と、よいと考えます。特に市長が行う調査と混同しやすいところだと認識しています。</p>	<p>■いただいたご意見を反映し修文</p> <p>法第 28 条 １項でも、調査の説明として「当該重大事態に係る事実関係を明確にするための調査」と記載されています。</p>
<p>第 １ ７ (＋ 6) 条 「法第 3 0 条第 1 項の規定による報告を受けた場合において」とありますが、本条例に、教育委員会から市長に報告するという条文が無いので違和感があります。</p>	<p>■いただいたご意見を反映し修文</p> <p>「日野市いじめ問題調査委員会（第 １ ７ ＋ 6 条）」の条文の前に、「教育委員会における重大事態への対処」の条文を追加いたしました。</p> <p>第 16 条（教育委員会における重大事態への対処） 教育委員会は、前条の規定による調査結果の報告を受けたときは、その旨を市長に報告するものとする。</p> <p>第 17 条（日野市いじめ問題調査委員会） 市長は、法第 30 条第 1 項の規定による報告を～</p>
<p>第 １ ７ (＋ 6) 条の 2 項 「法第 2 8 条調査の結果について、法第 3 0 条第 2 項に規定する調査（～略～）を行い」は、「法第 3 0 条第 2 項に規定する法第 2 8 条調査の結果について調査（以下「再調査」という。）」を行い」とするとよいと思います。再調査という言葉が、再度初めから調査をするように読み取られやすいので、しっかり 2 8 条調査の「結果」についての調査をすることを明確にしておくことが大切と考えます。</p>	<p>■いただいたご意見を反映し修文</p>

設問2 第3回検討委員会 資料06 子供の意見の聴収について

※提示された案で良いという意見以外の主な意見

ご意見等	事務局
<p>質問の目的を明確にすることが大切だと思います。また、どの部分にどのような文言を入れるのかのイメージを想定して聞くとよいと思います。</p> <p>例えば、どんな学校がよいかという漠然とした質問であると、蛇口からジュースが出て飲める学校、などという意見が出たことがあります。</p> <p>子供たちは、これを書いて何のためになるのか、教員は何で調査をしなければならないのかという疑念が出てしまうと思います。</p>	<p>ご意見を踏まえ、アンケートを実施</p>
<p>新項目を追加したねらい</p> <p>◎直接的な表現として『いじめ』をなるべく引用せず、学校にある良いルールや、あったら良いなと思うルールについて問う。</p> <p>◎『理想の学校であるために、みんなができることは何ですか?』等、自分に出来ることを問う</p> <p>、、、以上の部分についての意見です。</p> <p>アンケートはとり方によって情報操作できてしまう為、設問を含め吟味しなくてはならないと考えます。</p> <p>『いじめ』を多用することによって、回答内容に偏りができてしまう事は懸念されますが、それでは核心に迫ることが難しい側面もはらんでいると感じます。</p> <p>『みんなが』ということは考えていかねばならぬ概念ではありますが、まだ未熟な子どもにとってまずは『自分』を見つめる事が重要と思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見は、事務局で議論させていただきました。</p> <p>児童・生徒が「いじめ」を考える上で大切なプロセスと認識し、今後の課題とさせていただきます。</p>

<p>『いじめ』の難しいところに、お互いの認知の差(捉え方の違い)があると感じています。そこを見つめる事は、歩み寄りの一歩なのではないでしょうか？</p> <p>例えば</p> <p>①「どのような時に、あなたはいじめられたと感じますか？」</p> <p>②「あなたにとって、いじめの定義はなんですか？」</p> <p>このような質問の答えに、差が見えることが予想されます。</p> <p>その認知のズレが、いじめ問題の難しい所と考えますと、まずはズレを浮き彫りにする作業は必要不可欠と思います。</p> <p>また、同じように、</p> <p>③「あなたにとって友だちとはどのような存在ですか？」</p> <p>この問の答えからは、子どもを支えるものが何かということが、見えてくるのではないかと思います。</p> <p>以上のことから、①②③の設問の追加を希望します。</p> <p>(既に類似の項目がある場合は、ご容赦願います。)</p>	
---	--

設問3 その他ご意見


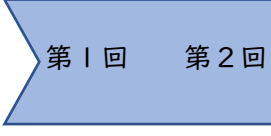

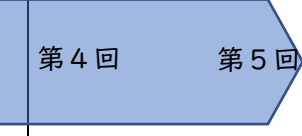





※ご指摘いただいた主な意見

ご意見等	事務局
<p>■条例を策定するのであれば、一条ずつしっかり確認し、意見を交わしていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>■第3回目の感想</p> <p>自分を大切にする、他の人も大切にする。内容については、良い言葉と思いました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>■委員皆様の議論のお時間が十分にとれずに申し訳ございません。</p> <p>第4回では、骨子案の条文について、委員の皆様と確認しながら進めていきたいと考えております。</p>

<p>第 2 回目より、説明などわかりやすかったように思えます。</p> <p>条例の策定にかかわることが初めてなもので、適切な発言ができないことが申し訳なく思います。</p> <p>■第 4 回目以降の議題にはならないのですが、気になった点</p> <p>○例えば、学校や保護者が連携していじめを行う児童等に指導を行っても、改善されない場合、いじめられている児童等といじめを行う児童等への対応は、どのくらいの期間をその状態が続きますか。教室を別々にするなどの対応はされるのでしょうか。</p> <p>○児童等の持ち物がなくなったり、壊されたりすることはいじめの対象になりますか？見えない場所で、そのようなことが起こった場合、している児童等の特定ができないときはどのような対応になるのでしょうか。</p> <p>このようなことをされている児童等は、いつまで我慢したらよいのでしょうか。</p> <p>以上です。いじめの内容は多岐にわたり、それぞれに対応する学校の先生方のご苦勞はとても大変なものと想像します。児童と児童の関係を一番知っているのも先生なので、対応にあたっては先生方に頼らざるおえないのですが、児童の話を聞き、対応してくださる専門の方がいらっしやると、先生方の経験などの差による対応はなくなり、専門の方と一緒に対応できると先生方も相談しやすいと思います。</p>	<p>○いじめられている児童等といじめを行う児童等への対応は、改善されるまで継続します。</p> <p>教室を別々にする等の対応については、個々のケースの状況に応じて、解決に向けて必要と判断された場合に行われることがあります。</p> <p>○対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものは「いじめ」に該当します。行為を行っている児童等の特定ができない場合は、被害を受けている児童等やクラスへの聞き取り、アンケート等を実施し、早期の特定に努めます。</p>
---	---

2. 今後のスケジュール

※パブリックコメントの実施

	2024 下期	2025 上期	2025 下期
日野市いじめ防止対策 推進条例検討委員会 設置			
日野市いじめ防止対策 推進条例検討委員会 開催			
子供たちの声 保護者の声			
日野市いじめ防止対策 推進条例 パブリック コメント			 
日野市いじめ防止対策 推進条例 制定			

パブリックコメント実施期間

令和7年11月17日（月）から令和7年12月16日（火）を予定